

富士通グループの環境活動の概要

1. 社会の要請に答えた富士通の取り組みの実績 ～環境対策から環境経営へ～

【富士通の環境経営の原点】

富士通では創立当初から環境を大切にする企業風土が形成されてきました。中でも川崎工場は、工場設立時に「外観が工場工場せざる」という理念のもと、緑豊かな「庭園式」の工場として、現在も本社機能としての中核を担っています。

また、1998 年からは、タイ（1998 年）、ベトナム（1999 年）、マレーシア（2001 年）でそれぞれ現地法人の従業員が中心となり、東南アジアでの植林プロジェクトを開始し、継続的な活動となっています。

これら従業員の一人ひとりの環境意識は、2002 年に制定された「The FUJITSU Way」がよりどころになっています。

「The FUJITSU Way」は、5 つの項目から構成され、その 4 番目に「環境」が位置づけられています。

【富士通グループの主な環境活動実績】

年 月	内 容
2003 .6	● 業界初、パソコンの環境負荷データを第三者認証により表示（ノートパソコンで環境ラベル「エコリーフ」を取得）
.5	● 国内全工場で廃棄物のゼロエミッションを達成
.4	● 蒲田新棟建設工事にて世界初の現場内コンクリートリサイクル実施
.3	● 植林ネットワークゲーム「リズムフォレスト」を活用した植林活動支援を開始
.3	● 本社部門において本業の取り組みにより ISO14001 認証取得完了
2002 .12	● 電機業界初、沼津工場が浄化槽汚泥生成肥料の広域活用システムを構築
.12	● 世界初、自社再生マグネシウム合金をノートパソコンに適用
.6	● 世界初、環境負荷の少ない「生分解性プラスチック」部品をノートパソコンに採用
.6	● 世界初、「スズ・亜鉛・アルミニウム組成の鉛フリーはんだ材料」を開発
2001 .12	● マレーシアで植林活動開始
2000 .12	● デスクトップパソコンで初のエコマークを取得
1999 .9	● ベトナムで植林活動開始
.5	● 環境会計制度の導入
1998 .10	● グリーン製品発表
.4	● タイで植林活動開始
1997 .12	● 国内全製造工場にて ISO14001 認証取得完了

2. 環境活動の費用対効果（環境会計実績および見込み）

分 類	2001 年度		2002 年度		2003 年度（予測）	
	費 用	効 果	費 用	効 果	費 用	効 果
富士通	77	123	79	88	83	120
主要子会社（連結子会社）	110	120	110	122	116	129
連 結	187	243	189	210	199	249

3. 社会からの富士通の環境での評価 ～環境格付け事例～

富士通グループの環境活動に対し、外部機関より、環境格付けとして以下の評価をいただいております。

1) 米国ダウジョーンズ社の評価

世界 2500 社の中でコンピュータ部門 4 年連続トップの評価をいただいております。これは「全製品のグリーン化」、環境ソリューション@ECOVISION の展開、環境会計の導入」など積極的な取り組みが評価されたものです。

2) SVTC 評価

米国環境 NGO 連合からも鉛を使わない製造手法の採用などグリーン製品化の取り組みが評価され、PC を製造する企業として世界トップの評価を受けています。

4. 第3期環境行動計画(2001～2003年度)の主な成果

現在活動中の第3期環境行動計画の主な成果、ならびに02年度時点での実績は以下の通りです。

1) 100%グリーン製品化

1993年度より、新製品の設計時から環境負荷の低減を図る独自の「環境アセスメント」を開始し、1998年度から省資源化、リサイクル設計、化学物質含有規制、省エネルギーなど、共通基準と製品群別基準からなる「グリーン製品評価規定」に基づき評価を実施しています。富士通本体は2002年度末に100%達成済、グループ会社は2003年度末の100%達成を目標に現在取り組みを推進しています。

2) 「廃棄物ゼロエミッション」による地域社会への貢献

2003年3月に国内13事業所で生活系を含めたゼロエミッションを達成し、地域社会での資源循環を強化しています。沼津工場では浄化槽汚泥より生成した肥料の品質を高め、電機業界で初めて農林水産省より普通肥料(汚泥発酵肥料)としての認定を受け、広い範囲で活用が可能になっています。

3) 「環境会計」による外部ステークホルダーとのコミュニケーション

1998年から環境会計制度を導入し、投資/効果の数値化を実施しています。コスト削減項目の明確化、環境保全投資の効率化など、環境経営を実現するツールとしての活用に加え、ステークホルダーへの情報開示手段としての役割も果たしています。

【第3期環境行動計画の実績(2001～2003年度)】

上段:グループ
下段:富士通

内 容		()内は、富士通目標	02 年度実績	03 目標値
グリーン製品	製品開発	・新規開発のすべての製品を、グリーン製品として2003年度末までに提供(2002年度末までに提供)	66.0 % (100 %)	100 % (03 年度末) 100 % (02 年度末)
	無鉛はんだ	・社内で製造する製品の鉛はんだを、2003 年度末までに全廃(2002 年 12 月末までに全廃)	62.3 % (95.5 %)	100 % (03 年度末) 100 % (02 年 12 月末)
グリーン調達		・製品用部品・材料について、グリーン部材の調達比率を2003 年度末までに調達金額の99%以上達成	93.2 % (99.4 %)	99 % (03 年度末) 99 % (02 年度末)
		・(事務用品について、公益法人または団体が認定したグリーン商品の調達比率を2002 年度末までに100%達成)	- (98.6 %)	- 100 % (02 年度末)
使用済み製品のリサイクル		・回収した使用済み製品のリサイクルシステムを、2003 年度末までに確立(回収した使用済み製品の資源再利用率を、2003 年度末までに90%達成)	推進中 (84.1 %)	リサイクルシステム構築 (03 年度末) 資源再利用率 90% (02 年度末)
省エネルギー対策 (地球温暖化対策)		・単位売上高当たりのエネルギー(電力、油、ガス)使用量を、2003 年度末までに1990 年度実績比で25%削減(40%削減)	14.3 % (29.7 %)	25 % (03 年度末) 40 % (03 年度末)
廃棄物ゼロエミッション		・廃棄物量を、2003 年度末までに1998 年度実績比で60%削減(廃棄物のゼロエミッションを、2003 年度末までに達成)	69.0 % (ゼロエミッション 達成)	60 % (03 年度末) ゼロエミッション (03 年度末)
化学物質の排出量削減		・重点化学物質の排出量を、2003 年度末までに1998 年度実績比で30%削減	84.2 % 85.0 %	30 % (03 年度末) 30 % (03 年度末)